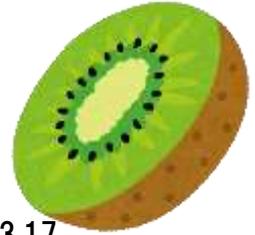


様

キウイフルーツ特報 No.1



2022.3.17

JA 中野市営農センター

JA 中野市キウイフルーツ研究会

本年の初期生育は、平年並みとなる見込みです。ただし今後の気象によっては、気温が上がり一気に生育が進む可能性があります。園地の生育状況をよく観察し、予防を意識した防除を実施しましょう。特に、カイガラムシの果実被害が昨年散見されましたので、発生園は今回の防除を徹底して下さい。

病害虫防除

◎発芽前の散布(3月下旬～4月上旬)

散布薬剤	水	90ℓ	散布日 月 日
	展着剤	10mℓ	
	石灰硫黄合剤	10ℓ	
散布量	10a当り300ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。		

注意事項

- ① 石灰硫黄合剤は、他の園地や隣接するハウスビニールにかからないように散布してください。
- ② 石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル 100 倍でもよい。
- ③ 剪定痕には、必ずトップジン M ペーストなど癒合剤を塗布してください。
- ④ **果実軟腐病対策**：前年度の着果痕(果柄)には、果実軟腐病の越冬菌が潜んでいます。着果痕を切除し、越冬菌を減らしましょう。
- ⑤ カイガラムシ対策：冬季(休眠期)に主幹部の粗皮削りを丁寧に行う。

次回予定：4月28日(木)

・開花直前の散布について